

## 平成25年度 社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会 事業報告

### 総括

長引く経済不況、少子・高齢化の進行、生活様式の変化に伴い、従来の地域社会は大きく変容し、低所得、ひきこもり、虐待や社会的孤立など、現代の住民は深刻な生活課題を抱えています。さらに近時は多発する自然災害が大きな不安材料となっております。このような背景の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命として、私ども社会福祉協議会が取り組んできた事業は、関係機関との連携強化のもと自治会のご理解とご協力をいただきながら、地域のネットワークづくりやサロン活動など、地域の皆様方のいきいきとした表情が見える事業展開に繋がりました。

また、総合福祉センターにおきましては、大規模改修工事を終え、地域福祉推進の拠点として、また災害時の福祉避難所としての整備も充実する方向で進んでいます。

なお、重点施策として掲げている事業につきましても各種事業の特性を活かし展開してきた結果をご報告いたします。

### 重点施策の報告

#### 1. 第2次太宰府市地域福祉活動計画の推進

地域福祉の推進に繋がるものとして、福岡県社会福祉協議会主催による「支え合いマップインストラクター養成研修会」のモデル地域を受け入れたことで、校区自治協議会や行政の協力とともに、地域住民の皆様方に参加をいただき、地域の支え合いを再認識する充実した研修会となったことは、一つの成果だと思っています。

また、その外の事業におきましても太宰府市における福祉のあり方を考え、基本理念となる「共生と共創のまちづくり」に則した事業展開を推進したことにより、行政や関係機関・団体等との連携強化に繋がりました。

## 2. あんしんシステム「ほのぼのサービス」事業の充実

市内在住の高齢者や障がい者等の財産の預かりや管理をする日常生活自立支援事業である「ほのぼのサービス」事業は、当社会福祉協議会の独自事業であり、柔軟な福祉サービスとしての実績を積み上げることができました。

また、他の社会福祉協議会より先駆的に取り組んだ、成年後見制度における「市民後見人養成講座」の開催は、参加者増の傾向から関心の高い講座として、これからの高齢社会に大きく期待されるものとなってきています。

## 3. 共同募金運動の推進及び充実

福祉事業の財源となる「赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動」につきましては、例年を超える実績を上げることができました。これも一重に市民の皆様をはじめ、関係機関のご理解、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

## 4. ボランティア活動の充実

ボランティア団体の活動支援の一環として開催した「ボランティア体験講座」は、講師をボランティア団体等へ依頼したことで、活動のきっかけや活動への意欲、課題等も組み込まれ、受講者にとって分かりやすく大変好評でした。

また、太宰府市 NPO・ボランティア支援センターとの共催による、災害時を想定した講座の開催や筑紫地区社会福祉協議会災害時相互支援協定の締結など、災害時におけるボランティアセンターとしての機能充実に努めることができました。

## 5. 保育所太宰府園の保育事業の充実

今年度も様々な行事や活動を通して、子ども達に豊かな生活経験を提供できるように取り組んでまいりました。更に、個々に応じた子どもの育ちを支えるために、各専門機関との連携にも努めました。また、保育実践や研修、

年2回の自己評価を行い、園全体で討議し改善点を見つけることで職員の専門性の向上に繋げるとともに、協働性を高めてきました。

子育て支援センターたんぽぽクラブにおきましては、利用者の声を積極的に取り入れ、楽しく安心して誰もが参加しやすいクラブづくりを実践しながら、子育て家庭の交流や遊びの場の提供、子育てに関する相談や助言、情報の提供等、地域の状況に応じた活動にとりくみました。

#### 6. 安定的自主財源の確保

諸事業を推進していく財源確保をするため、経費節減はいうまでもなく、賛助会制度の周知と協力依頼等に努め、新たな財源の開拓にも力を入れてきました。

以上、平成25年度の事業実施に当たりましては、市民の皆様をはじめ、行政並びに各種関係機関・団体等に多大なるご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。今後とも、より一層のご支援をお願いいたします。

平成26年3月31日

社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会

会 長 松 島 幹 彦